



協定覚書署名式の様子

https://www.pe.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_001617.htmlより抜粋

国際交流の特色

南米の太平洋沿岸に位置するペルーは隣国チリと共に日本と同様の地震火山国です。これまでも多くの地震津波ならびに火山災害が発生しています。また、甚大な風水害も頻発しています。ペルー国家防災庁（INDECI）の役割はこれら自然災害の被害軽減ならびに救援救助です。

一方ペルーはマチュピチュ遺跡やナスカの地上絵などが有名ですが、クスコ郊外にはレインボーマウンテンと呼ばれる地層が織りなす絶景の山並みもあります。レインボーマウンテンはまさに地球の営みによる一つの芸術です。ペルーの人々は日本と同様に自然の恵みと災害に向き合って暮らしています。

交流実績（令和4年度～令和6年度）

年度 受入・派遣	R4	R5	R6
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	1
オンライン交流参加者（本学）	0	0	0
オンライン交流参加者（相手機関）	0	0	0



INDECI主催の講演会の様子

教員からの声

ペルーの首都リマは人口1000万人を超える大都市です。その沖合には巨大地震震源域が存在し、日本と同様に地震津波リスクがあります。そのため、香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構はペルー国家防災庁（INDECI）と連携し、科学技術ならびに社会科学の両面から地震津波被害軽減のための減災科学研究を推進しています。

2024年にはIGP（ペルー地球物理学研究所）長官が来日し減災研究に関する意見交換を行い、2025年はペルーリマを訪問しINDECIやIGP（ペルー地球物理学研究所）などを訪問し減災科学の推進を図る予定です。

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
特任教授 金田義行


https://www.pe.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_001617.htmlより抜粋